

障害のある方々の才能生かす

豊橋市内5社 加藤副知事がまちなかギャラリー視察

芸術・文化活動を通じて障害者の社会参加を目指して県が催す「あいちアール・ブリュット」と、障害者のアートの才能を発掘して支援する一般社団法人「アティックアート」との連携事業「まちなかギャラリー」が、12日から県内の機関・企業20団体の社屋など63カ所で開催されている。3月5日まで。入場無料。

ギャラリーでは、障害者の絵画作品と、それをデザイン化して制作した各団体のノベルティグッズを展示している。加藤慎也副知事は12日、豊橋市内の参加企業5社を訪問。豊橋商工信用組合（前田町）、岡崎信用金庫花田支店（花田町）、神野建設（神野新田町）、花田工務店（中世古町）、ネットトヨタ愛知プラザ豊橋（新栄町）のギャラリーを見て回った。

豊橋商工信用組合では、原画7点とノベルティのクリアフイル、ティッシュユ、現金封筒などを展示。アティックアートの須藤伸枝理事長の説明を受けた加藤副知事は、「障害のある方々が才能を生かす、仕事にできればすばらしい。今後も協力していきたい」と話した。



左から須藤理事長、加藤副知事、商工信用の中村勝彦理事長（豊橋商工信用組合で）

まちなかギャラリーは2019年に続き2回目。

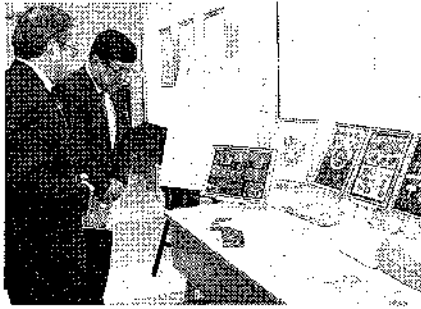
問い合わせは、愛知県障害者芸術活動参加促進事業実行委員会 電話052（954）6697 へ。（原田ひとみ）

三河・静岡

原画作品展が開幕

アティックアートと連携20企業・団体

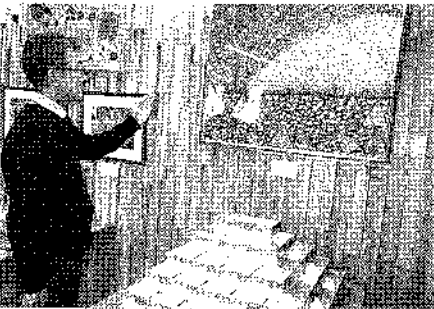
【岡崎】一般社団法人アティックアート(事務局豊田市土橋町、須藤伸枝理事長)と、連携する愛知県下の20企業・団体は12日、ノベルティグッズのデザインなどに採用した原画を自社施設などで展示する連携作品展「まちなかギャラリー」を一堂に開幕した。同法人と連携企業はアートの才能を持つ障がい児・障がい者の発掘と自立支援を目的に、ティッシュボックスやクリアファイル、カレンダー、年賀はがきなど多様なグッズや自社車両ラッピングなどに、障がいアーティストの作品を採用している。



岡崎信金花田支店の展示会場(豊橋市)を訪れた加藤慎也副知事(右)

「まちなかギャラリー」は連携活動の周知拡大を図るとともに、色彩豊かでファンタジー性あふれる作品の魅力に触れてもらうのが狙い。会場のひとつ、小原建設本社(岡崎市)ではノベルティへの採用を開始した2014年から今年に至るまでの原画31点を展示。来場者にはティッシュ

ボックス1個ボックスを進呈している。「会期中の来場者は50人が目標」(総務部)という。



小原建設の展示会場(岡崎市)

展示場所は次の通り(五十音順)。
愛知県〓本庁舎・西庁舎(17日から、名古屋市中区) ほか▽愛知県信用保証協会〓本店(同中村区) ほか▽愛知県測量設計業協会〓県住宅供給公社ビル(同中区) 〓岡崎信用金庫〓本店(岡崎市)、名古屋支店(名古屋市中区)、花田支店(豊橋市) ほか▽小原建設〓本店(岡崎市) 〓角文〓本社(刈谷市)、刈谷商工会議所(同) ほか▽かりや愛知中央生活協同組合〓本部署務所(同) 〓近藤組〓本社(同)、シヨールームヒトイエ(知立市) ほか▽須藤事務所〓本社(豊田市) 〓神野建設〓豊川保健所改修工事仮囲い(豊川市) ほか▽関興業〓本社(刈谷市) 〓太啓HDグループ〓太啓建設(豊田市)、LIXILリフォームショップ太啓

〓東庁舎(同) ほか▽豊田市〓〓本社(名古屋市中区) 〓豊橋商工信用組合〓豊川支店(豊川市) ほか▽中日本ハイウェイ・メンテナンズ名古屋〓本社(名古屋市中区) 〓ネットトヨタ愛知〓プラザ鳴海(同緑区) ほか▽ネットトヨタ中部〓プラザ豊田(豊田市) ほか▽花田工務店〓豊橋本店(豊橋市) ほか▽碧海信用金庫〓サルビア支店(安城市)、御園支店(名古屋市中区) ほか

〓御園支店(名古屋市中区) ほか

岡崎信金など
加藤副知事視察

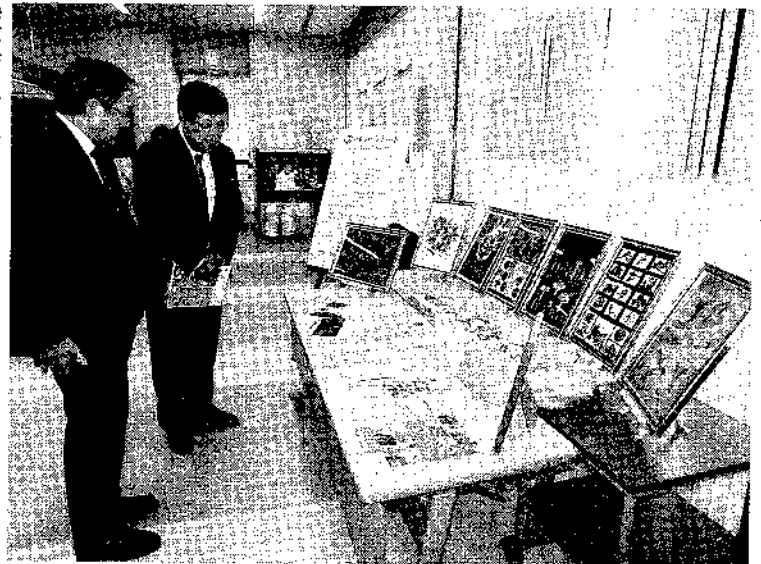
アティックアート まちなかで紹介

障害のある人たち作品展示

障害のある人たちの作品を展示し応援する、「あいちアール・ブリュット×アティックアート連携作品展 まちなかギャラリー」が12日、愛知県内の公共施設や事業所などで始まった。東三河では東三河総合庁舎など豊橋・豊川の13カ所で展示がスタートし、初日は加藤慎也副知事が地元数会場を視察した。3月5日まで。

作品をグッズに

県障害者芸術活動参加促進事業実行委員会と一



障害のある人の作品と企業ノベルティを見学する加藤副知事(左)＝岡崎信用金庫花田・松葉支店で

一般社団法人アティックアートの主権。「あいちアールブリュット」は、県内の障害のある人の芸術・文化活動を通して、障害者の社会参加や障害への理解を深め、障害の有無を越える交流を目指す活動で、「アティックアート」は障害者らの個性ある作品を商品やパッケージ等に採用することで芸術的才能を広げ、生きがいにもつなげるもの。まちなかギャラリーでは、障害のある人たちの作品をデザイン化して制作したノベルティグッズや原画な

どを展示している。展示会場のうちのひとつ、岡崎信用金庫花田・松葉支店(豊橋市花田町、鈴木聡支店長)では、3年前にアールブリュット展で選んだ作品とそれを基にしたエコバッグ、2年前に同展で選んだ3人の作品とそれを使った現金封筒やキャッシュカード、昨年の同展で選んだクリアファイルや油とり紙、タオルといったノベルティグッズとその原画(いずれもレプリカ)を展示紹介している。同支店を訪れた加藤副知事



作品を見学する加藤副知事(左)＝豊橋商工信組本店で

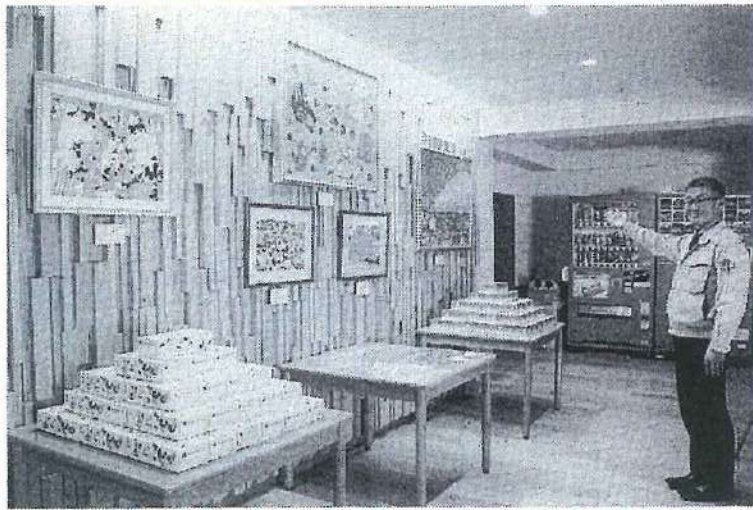
は、同金庫職員の説明を受けながら作品1点1点を熱心に鑑賞。「色鮮やかで素晴らしい作品ばかり。いろいろな人たちのご協力を取り組みが実現した。障害のある方の張り合いになり、見る人も喜ぶ。みんなが展示を通して明るくなれたら」と話していた。同信用金庫では今回、同支店や本店営業部など5店舗で展示を実施、「ノベルティグッズはお客さんにも喜んでいただいている。今後も続けていきたい」と関係者は話す。(田中博子)

豊橋商工信組にも

豊橋市前田町の豊橋商工信組(本店)も視察した。店内には、絵を採用

した封筒やクリアファイル、ティッシュ箱などを展示し、原画も飾っている。加藤副知事は、須藤理事長、同信組の中村勝彦理事長らから説明を受け「才能を生かしてい

れば、これほど素晴らしいことはない」と話した。この日は、施工現場でフェンスなどに絵画作品のポスターを掲示している同市の神野建設なども訪問した。(中村晋也)



個性が輝く30点

障害者の
作品展 小原建設など63カ所で開催

障害者が制作した芸術作品を紹介する「あいちアール・ブリュット×アティックアート連携作品展」が県内六十三カ所で開かれている。会場の一つ、岡崎市明大寺町の小原建設本社では、大小さまざまな力作三十点と、展

障害者の作品や記念品が展示されている会場＝岡崎市明大寺町の小原建設で

示作品を原画にして同社が二〇一六(平成二十八)年から作成するボックスティッシュや年賀状といった記念品十一点が展示されている。三月五日まで。

社屋の階段壁面や三階食堂などに作品を掲示。細かく観察して描いた動物や、たくさん点で色鮮やかなイルミネーションを表現した大作、今年の干支「子」など、個性的な

構図や色使いの作品が並んでいる。

観覧無料で入退場自由だが、二階総務課で受け付けを行う。祝日を除く月々金曜の午前九時～午後五時。

岡崎市内では同社のほか、岡崎信用金庫本店営業部(菅生町)、愛知県信用保証協会西三河支店(久後崎町)、ネットトヨタ愛知のプラザ岡崎(井田新町)、プラザ岡崎南(戸崎町)、岡崎東店(欠町)、岡崎西店(宇頭町)の六カ所でも作品展を展開している。



「まちなかギャラリー」を視察

大村愛知県知事 近藤組など4社訪問



近藤社長(右)の案内で、近藤組の「まちなかギャラリー」を視察する大村知事

【刈谷】一般社団法人アティックアート(事務局豊田市、須藤伸枝理事長)と連携して障害者の作品を展示している刈谷地区4

社の展示会「まちなかギャラリー」を26日、愛知県の
大村秀章知事が視察に訪れた。

まちなかギャラリーで

は、ノベルティグッズのデザインなどに障害者の作品を採用した企業が、その原画やグッズを自社などで展示している。愛知県など県内の20企業・団体が参加している。

今回、角文(本社刈谷市)近藤組(同)、関興業(同)、碧海信用金庫サルビア支店(安城市)で開催されている展示会を大村知事が視察した。

このうち近藤組では、本社で展示している原画や原画をデザインしたクリアファイル、ボックスティッシュなどを紹介。近藤純子社長は「4年前からアティックアートと連携し、障害者の方の作品を活用させてもらっている。素晴らしい作品が増えている」などと語った。

大村知事は「絵の完成度が高い。障害者アートの絵を採用してくれる企業の協力があってこそ、障害者の芸術文化活動が継続できる」と評価した。

芸術支える大きな意義

○…芸術作品を通して、障がい者の社会参画を支援する「まちなかギャラリー」が2月12日～3月5日に愛知県内で行われている。意義に賛同し、県内の金融機関が2019年から引き続き参加した。

岡崎信金、碧海信金、豊橋商工信組、愛知県信用保証協会は、営業店で作品と



それをデザイン化した頒布品を展示。2月29日には岡崎信金が採用作者へグッズ贈呈式を行う。「配布品の独創的な意匠が顧客に好評だ」と豊橋商工信組の担当者。ノベルティの一部は取引先が作成した。2月14日に加藤慎也副知事が岡崎信金と豊橋商工信組を、2月26日には大村秀章知事が碧海信金の営業店で飾られている作品を視察した。

「金融機関に作品が採用されることは、作者とその家族の誇りだ」と、主催者のアティックアートの須藤伸枝理事長。障がい者支援の意義は大きい。

豊かな色使い楽しんで

県内20企業・団体 障害者の絵画展示



県内の障害のある人が描いた絵画を集めたギャラリー＝岡崎市明大寺町の小原建設で

県内の障害のある人が描いた絵画を集めた「まちなかギャラリー」が、三河地域を中心に県内二十の企業・団体が開かれている。入場無料。五日まで。

県と障害者の芸術活動を支援する一般社団法人アテックアート(豊田市土橋町)が主催。活動に賛同する企業・団体が各地で障害

者の作品をデザイン化し、ノベルティ用品を作る活動に取り組んでいる。活動をより広めようと今回、社屋などを会場に原画をはじめとする作品を紹介している。

岡崎市明大寺町にある小原建設では、三河地域の特別支援学校などの通学者を中心に十九人の原画計三千

点を展示。原画を利用して作ったクリアファイルやティッシュボックスなど記念品も並ぶ。同社の担当者は

「色使いが豊かな作品ばかり。一般の人にも気軽に見に来てほしい」と話す。

(土屋あいら)